

## 野球部 安全対策表

以下の表は、各項目に対する安全対策および事故発生時の対応をまとめたものである。本クラブ所属部員は、必ず安全対策を実施し、事故等が発生しないように注意する。また、万一、事故が発生した場合には、表に示されたように正しい対応をしなければならない。

項目	安全対策	事故発生時の対応
緊急連絡体制の管理	① 緊急連絡網を作成し、練習中及び試合などにおいて必ず所定の位置に配置するか、または顧問教員及び部長又はマネージャーが持参すること。	顧問教員及びクラブ部員は、事故発生時においてケガ人の処置をした後、緊急連絡先に連絡すること。
部員の健康管理	① 練習前に必ず自分の体調を把握し、体調の思わしくない時は、活動を行わないようにする。 ② 練習中において急に体調が悪くなる場合があるので、必ず複数で練習し、常に相互に確認すること。 ③ 練習が終了して、練習場所を出る時も必ず複数で行動すること。練習場所に一人で残ることがないようにする。また、帰宅時もなるべく複数で行動すること。	人命第一を考え、状況を的確に判断、救急車の手配をする。また、直ちに顧問教員あるいは看護師（又は学生係）に連絡をする。
練習中における安全管理	① 試合（オープン戦・公式戦）を本校グラウンドにて行う際は、高野連の定めた安全対策に則り、派遣された審判員の指示に従うこと。 ② 試合・練習時には、防球ネット等を使用するとともに、打球の飛散を知らせる要員を配置して、選手以外の安全対策にも努めること。 ③ 試合・練習時には、必ずユニフォーム（練習着を含む）と防具を着用し、公式の球（練習球を含む）を使用して行うこと。 ④ 事故や疲労による怪我の対策を十分に行うこと。特に、軽度の打撲や連続投球後のアイシングは必ず行うこと。 ⑤ 打球による事故・怪我が発生した場合は、指導者の判断のもと、基本的には病院に搬送すること。その際、必ず大人（教員・監督・父母の会など）が付き添うこと。 ⑥ 休日練習を行う場合は担当の教員または外部コーチを配置し、緊急時には対応が取れるようにすること。なお、連絡はマネージャーが行うものとする。 ※マネージャー不在時には休日練習は不可。 ⑦ 夜間は照明を使用して、練習はできるだけ明るい環境で行うこと。 ⑧ 打球や投球への衝突、人同士の衝突を避けるため、声かけや電子ホイッスルでの注意喚起	状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。

	を行う。	
項目	安全対策	事故発生時の対応
試合における安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 試合前に救急箱の中をチェックし、必要なものがそろっているか点検すること。</li> <li>② 試合会場への移動は、必ず公共交通機関を使用して行うこと。また、事情により顧問教員が引率できない場合は責任者を決め、万が一の時には顧問教員と連絡が取れる体制を取るようしておく。</li> <li>③ 試合は、特別な場合を除き、監督等の指導者不在時には行ってはいけない。</li> </ul>	<p>必要なものがない場合は必ず補充する。</p> <p>試合会場への移動計画をあらかじめ顧問教員へ連絡し、万が一の場合の対応について確認しておく。</p>
練習場所等の施設の安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 試合・練習前に、バックネット及び防球ネットの状態を確認して、放逸した球による事故や怪我を予防すること。</li> <li>② 練習を行っている部員以外がいる方向に対して、ノックやバッティング練習は行わないこと。加えて、意図しない方向にボールが飛んで行った場合に、注意喚起を行うための要員を必ず配置すること。</li> <li>③ ブルペンでは必ず一方向で投球を行うこと。</li> <li>④ 練習前後は必ずグラウンド整備を行うこと。</li> <li>⑤ 定期的に草取りを行い、安全なグラウンド状態を確保すること。</li> </ul>	<p>状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。</p>
<b>外部（応援者を含む）の安全対策</b> <b>* 対応クラブのみ</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 試合・練習中に、選手以外の者はグラウンドに立ち入ってはならない。</li> <li>② 応援者はバックネット裏などの安全な場所にて応援を行うこと。また、関係者以外の安全にも配慮し、声掛けによる安全対策を講じること。</li> <li>③ 公式試合では、1塁・3塁側スタンドに対するファールボールを知らせるため、ホイッスルを持参・使用すること。</li> </ul>	<p>（*各クラブで作成）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 部長及びマネージャーは、クラブ活動日程・練習内容を事前に顧問教員に連絡すること。</li> <li>② 事故時には全員で応急体制に当たること。</li> <li>③ 部員及びマネージャーは、救命救急法に関する知識を身につけておくこと。</li> <li>④ 事故時の連絡体制のため、学生の緊急連絡先を常備しておくこと。</li> </ul>	<p>状況を的確に判断し、直ちに顧問教員に連絡する。</p>

# 新型コロナウイルス感染症対策

## 1. 共通の対策

- 活動前に検温を行い、発熱がある場合（体温が 37.5℃以上である場合、または平熱より 1℃以上高い場合）は活動に参加できない。発熱がなくても咳など風邪の様な症状がある場合、倦怠感がある場合、息苦しさなどがある場合、嗅覚異常など身体に異常を感じる場合、その他少しでも体調が優れないときも活動に参加できない。
- 熱中症の心配のない活動や運動を伴わない活動においては、活動時にマスクを着用する。マスクを着用しない場合は、近距離での会話を控える（近距離での大声は徹底的に避ける）。
- 石けんを用いた手洗いやアルコール等の消毒用品を使用して、手指消毒を行う。
- 人との間隔をできるだけ 2 m（最低 1 m）空けるように努める。
- 使用する用具等については使用前に消毒を行うとともに、不必要な使い回しをしない。
- マスク、タオル、給水ボトル（飲料）などは自分専用のものを用意し、共用しない。
- 体育館など屋内で実施する活動については、その場所のドアを広く開け、こまめな換気を行う。ドアノブなど、学生が頻繁に触れる箇所は担当者を決め、定期的に消毒を行う。
- 部室や倉庫はなるべく短時間の利用とする。部室が活動場所となるクラブ・同好会は、人数に応じて教室の使用なども検討する。

## 2. 個別の活動内容にあわせた対策

- 試合中は高野連が定める感染対策に従う。

## 部 安全点検リスト

### 一般的事項

- 救急箱は用意してあるか
- 緊急連絡網は用意してあるか
- 部員の体調を確認したか
- 準備運動はしっかりと行われたか
- 活動をするのにふさわしい服装をしているか
- 給水のための設備は万全か
- 天候は練習に適しているか ※雨天（雷）、大風時の練習・試合は禁止する
- 一定数の部員がいるか ※少数での練習は緊急時の対応ができないため不可とする
- 緊急連絡ができるマネージャーがいるか

### 施設・用具関係

- 練習前に使用する施設の安全確認を行ったか ※バックネット、安全ネットの確認
- 練習場所はしっかりと整備された状態で練習を開始できるか
- 使用する道具の破損等がないことを確認したか
- 練習場所周辺に人がいないか、放逸球に対する注意喚起の要員は配置したか
- 3 塁側ネットは引いているか
- 高野連が定めるユニフォーム、シューズを着用しているか
- 高野連が定める練習球を使用しているか

### 緊急連絡先

- ・ 顧問教員 :
- ・ 学生係 : 055-926-5734
- ・ 保健室 : 055-926-5729
- ・ 学生主事 : 055-926-5768

- ・ 施設、道具類に破損等がある場合には、顧問教員に報告するとともに、その使用を禁止し、それに関わる練習を行わない。また、施設に関しては、学生係にも連絡すること。